

観光Plus+

観光ビジネスや自治体・地域と連携した実践的な学び

観光ビジネスの現場での実務研修や、自治体・地域と連携したワークショップを通じての人材育成にも力を入れています。



全学部 [小江戸(川越)まちおこし]

身近な地域に目を向け、課題の解決を図る

東京国際大学は、2013年度に文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(COC事業)の拠点校として採択され、「地域を志向した教育・研究・社会貢献」を進めています。学内の教育および研究体制を地域と連携するかたちで整備・充実させ、社会貢献活動型のプロジェクトを通して、地域に貢献できる人材を育成。地域と連携して継続的に活動できるネットワーク組織を作り上げています。

「まちおこし」を通じて人材を育てるプロジェクト型授業

観光まちおこしワークショップ

「まちおこし」の専門家による全学部・学科対象の講座です。実践、プロジェクト科目は知識よりメソッド修得に重点を置き、グループワークやフィールドワークを中心に進めます。

観光まちおこしワークショップ

- 観光まちおこしの基本を学ぶ
- 川越を知る
- 川越の課題を見つける

入門

“企画”を考える

実践 A

地域観光活性化

- 企画する力
- 地域課題を見つける・解決する
- 産業活性化がテーマ

“発信”していく

実践 B

小江戸かわごえグローバル化

- 発信する力
- 地域の魅力を掘り出す・伝える
- 国際都市化がテーマ

“若い視点・第三者の視点”を持つ

実践 C

学生主導の地域再生プラン

- 主体的に考える力
- 地域の可能性を探る・見つける
- 地域と大学とのつながりがテーマ

授業で学んだ内容をもとに、プロジェクトにチャレンジ!

地域課題解決のためのプロジェクト

地域のニーズに基づき、企業のミッションに取り組む実践型プロジェクトです。成果を実社会に向けて発信します。
※川越 公・民・学連携会議にて、各所からさまざまなアドバイスをいただいています。

Project 01 「天空の自然薯」で地域活性

地域課題解決に取り組む本学の学生たちが、大学生観光まちづくりコンテスト2024(福島復興ステージ)に出場。川内村の特産品「天空の自然薯」を活用したプラン「粘りが強い川内村高田島を目指して…ネバーネバーエン井大作戦!!」を提案し、「審査員特別賞(JTB賞)」を受賞しました。審査員からは、川内村の現状分析やプランの独創性に高い評価をいただきました。



Project 02 川越市情報発信プラットフォーム制作

SNSを活用し、川越市の魅力をリアルタイムで発信するプラットフォームの構築を進めています。動画配信や音声配信など、さまざまな立場のユーザーに届くバリアフリーコンテンツを目指しています。



Project 03 多摩川堤防の刈草を資源化し、活用

国土交通省京浜河川事務所などと協力し、多摩川の堤防に生える雑草を刈り取ってペレット(バイオマス燃料)として製造。2024年度は、川崎市のイベントでこのペレットを用いた焼き芋販売を行いました。



国際関係学部 [観光立国プログラム]

観光の現場をフィールドに、実社会で必要なスキルを学ぶ

ツーリズム産業は、地方創生やグローバル化の観点から成長領域として注目されています。「観光立国プログラム」では、JTBグループ各社でのインターンシップ、観光客誘致に積極的な全国各地の観光施設や観光協会での実務研修など、社会における実践を通じた学びが充実しています。



JTB総合研究所

東京国際大学
TOKYO INTERNATIONAL UNIVERSITY

人材育成・教育

実務研修(インターンシップ)

Internship 01 観光まちづくり佐伯(大分県)

佐伯市が取り組む観光まちづくりをインターンシップを通して体験します。佐伯市の観光資源を活かしたイベント運営や活動をサポートし、まちづくりに関わる事業者と直接交流する機会を得ながら観光についての理解を深めます。



Internship 02 ヨロン島観光協会(鹿児島県)

観光協会での職場体験だけでなく、与論島の歴史や文化・生活にもふれながら、離島の現状について学びます。島内視察や海で働く観光事業者との交流もあり、島の魅力を感じると共に環境保全についても考えます。



観光関連科目

- 観光メディア論
- 観光マーケティング論
- 観光先進地研修
- 観光魅力創造論
- MICE産業論
- 観光ビジネス論
- 観光実務研修
- 国際観光英語演習
- 観光マネジメント論
- 観光コミュニケーション論

STUDENT INTERVIEW 和田 大雅 Taiga Wada 国際関係学部 国際関係学科 / 3年

旅行業界の事業内容と社会貢献活動への理解が深まった5日間

もともと旅行業界に興味を持っていたため、入学後は必ず観光立国プログラムに参加しようと考えていました。2年次に「観光実務研修」に参加し、株式会社JTBで5日間のインターンシップを経験。旅行プランの作成やチケットの手配などの業務を通じ、旅行会社で働くイメージをつかめました。さらに、規格外野菜を缶詰にした「ロス旅缶」のプロモーションイベントにも参加。食品ロス問題の解決を目指す取り組みで、これまで抱いていたイメージとは異なる切り口の事業を行っていることに驚くと同時に、旅行会社ができる社会貢献のあり方について視野が広がりました。研修に参加したことで、旅行業界への就職意欲が一層強くなり、就職活動のモチベーションになっています。



「ロス旅缶」のPRイベント